

熊本大学における女性研究者養成支援の取組
～「バッファリングによる女性研究者養成加速」および
「女性研究者研究活動支援事業（拠点型）」～

1. 熊本大学における「バッファリングによる女性研究者養成の加速」では、大学院自然科学研究科において理学および工学系の優れた女性研究者を養成することを目的とし、予め定めた採用計画に従って女性研究者を雇用し、人材の多様化、研究の活性化および男女共同参画事業の推進を図っている。このための全学的支援として全学措置席（バッファ席）を準備し、当初3年間は新規採用した女性研究者をここに配置している。支援期間終了後は自然科学研究科へ異動させる。また採用した女性研究者への多様な支援により早期のキャリアアップを推進している。

【計画と実施】

- ・全学措置席（バッファ席）による女性研究者の採用（5年間で理学系5名、工学系8名）
- ・新規採用女性研究者への研究支援 — 1名あたり150万円のスタートアップ研究費の配分
- ・出産・育児のための研究支援員の雇用
- ・メンター教員の配置と支援
 - 新規採用女性研究者に3名（うち1名は女性）のメンター教員を配置。
 - 各メンター教員に年20万円の女性研究者支援経費を配分。
- ・既在籍女性研究者のスキルアップ支援 — 国内外の学会への旅費、参加費の支援
- ・女性研究者シンポジウムの開催（H23～） ・外部委員を含む評価委員会開催（H24～）
- ・スキルアップ経費及び事業全体についてのアンケート実施（女性教員対象）（H24）

【平成22年度～平成25年度の採用状況】

- ・理学系女性研究者2名（助教1・准教授1）、工学系女性教員8名（准教授4・助教4）の採用

【平成26年度の採用と新規取組状況】

- ・女性研究者3名の採用（予定）
- ・新規採用女性研究者とそのメンター教員と自然科学研究科プロジェクト実施委員会との懇談会開催

2. 平成25年度に採択された「女性研究者研究活動支援事業(拠点型)」では、熊本大学が拠点となり、熊本県内の全高等教育機関のネットワーク組織である大学コンソーシアム熊本（コンソ）と連携し、熊本県内における女性研究者の研究がライフイベントにより中断や遅滞を招くことなくスムーズに遂行されるよう支援の取組みを普及することを目的としている。なお、具体的取組みは男女共同参画推進室の下に設置した女性研究者研究活動支援事業(拠点型)事務室を中心に実施している。

- ・コンソとの連携 — コンソ内地域創造部会の下に女性研究者研究活動支援事業(拠点型)ワーキンググループを設置（熊本県内11高等教育機関の代表17名で構成）県内への普及の検討・実施
 - ジェンダー科目の公開と研究環境整備に関する提言の検討中、ニーズ調査
 - コンソとの共催での女性研究者研究活動支援事業(拠点型)シンポジウムの開催（本年度はコンソ内機関の幹部によるパネルディスカッションを計画）
- ・コンソ内への普及事業 — 県内女性研究者44名掲載ロールモデル誌の制作並びに広く熊本県内に配布とWebサイトへの掲載、Webサイトでの活躍する女性研究者の研究内容紹介*
 - 女性研究者間共同研究への支援（本学&コンソ内大学4グループ、本学&企業2グループ）*
 - 病児・病後児保育支援（本学5名、コンソ内大学10名の女性研究者）
 - 介護なんでも相談（月1回実施、11月から2か所で実施予定）* *：新規事業
- ・本学対象事業 — 補助者雇用事業（5名）、復帰支援事業（学会旅費、論文校閲料：8名）*

[加速連絡先] 熊本大学 大学院自然科学研究科 TEL: 096-342-3527

E-mail: szk-kenkyu@jimu.kumamoto-u.ac.jp URL: <http://www.gsst.kumamoto-u.ac.jp/>

[熊本大学連絡先] 熊本大学 男女共同参画推進室 TEL: 096-342-3281

E-mail: gender@jimu.kumamoto-u.ac.jp URL: <http://gender.kumamoto-u.ac.jp/>

熊本大学における女性研究者支援の取組

～「バッファリングによる女性研究者養成加速」および

「女性研究者研究活動支援事業(拠点型)」～

バッファリングによる女性研究者養成加速

科学技術人材育成費補助金「旧女性研究者養成システム改革加速事業」

大学院自然科学研究科(関連する研究センター等を含む)における理学および工学系の優れた女性研究者養成のため、予め定めた採用計画に従って女性研究者を雇用し、自然科学研究科における人材の多様化、研究の活性化および男女共同参画事業の推進を図る。女性研究者の採用を計画的かつ円滑に進めるための全学的支援として期間を限定した全学措置席(バッファ席)を準備し、当初3年間は女性研究者をこの全学措置席に配置する。3年間の支援期間終了後は自然科学研究科席へと異動させる。本取組終了後も新たに設置する全学的支援制度のもと、女性研究者の計画的かつ円滑な採用を継続する。また、採用した女性研究者および既在籍女性研究者へのスキルアップ支援などにより、その早期のキャリアアップを推進する。

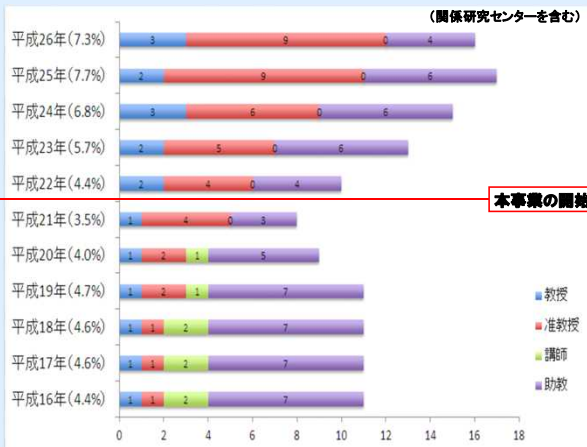
女性研究者養成加速のための全体計画



本プロジェクトによる女性教員採用状況 (26年10月現在)

年度	着任日	専攻・講座	職名	国籍
H22	H23.2.1	理学専攻地球環境科学講座	助教	日本
H22	H23.3.16	産業創造工学専攻物質生命化学講座	助教	外国
H23	H23.4.1	産業創造工学専攻先端機械システム講座	准教授	日本
H23	H24.2.1	情報電気電子工学専攻機能創成工材料-講座	准教授	日本
H24	H24.4.1	理学専攻生命科学講座	准教授	日本
H24	H24.6.1	環境共生工学専攻社会環境マテリアル講座	准教授	日本
H24	H24.9.1	環境共生工学専攻建築工学講座	助教	日本
H24	H25.3.1	産業創造工学専攻マテリアル工学講座	助教	外国
H25	H26.3.1	環境共生工学専攻社会環境マテリアル講座	准教授	日本
H26	H26.8.1	情報電気電子工学専攻先端情報通信工学講座	助教	日本

自然科学研究科職位別女性教員数の推移 (各年5/1現在)



女性研究者研究活動支援事業(拠点型)

本事業は、熊本大学が拠点となり、熊本県内の全高等教育機関のネットワーク組織である大学コンソーシアム熊本(以下、「コンソ」という。)と連携し、熊本県内における女性研究者の研究がライフイベントにより中断や遅滞を招くことなくスムーズに遂行されるよう支援の取組みを普及することを目的としている。なお、具体的取組みは男女共同参画推進室の下に設置した拠点型事務室を中心に実施している。



シンポジウム&フォーラムの開催
意識醸成を図るため、コンソと共催してシンポジウムとフォーラムを開催しています。多彩なゲストをお招きして教職員はもちろんのこと学生や一般の方も対象に様々なアプローチで男女共同参画について考えます。

介護サービス コーディネート事業
NPO法人に委託し、介護「なんでも相談室」を開設。介護問題ワークショップを開催して将来に備える意識も醸成しています。コンソ加盟校の研究者も利用できます。

10/30, 12/1, 12/20, 1.28, 2/1, 2/20, 9.20, 9.27, 10.18開催

毎月1回(11月から2回)開催

女性研究者研究活動支援の普及の取組(～H26.10)

- 大学コンソーシアム熊本内ワーキンググループを設け**
地域連携部の下部組織としてスタート。県内各大学のメンバーがライフイベントを乗り越える支援の普及のために活動します。
11大学17名のメンバーで計3回開催
- ホームページ**
女性研究者研究活動支援事業(拠点型)に関する情報や活動中の女性研究者に関する記事を掲載しています。
<http://genderkyoten-kj.jp>
アンケート調査実施(H26.2.21終了)
ホームページへお越し下さい
- 熊本県内研究者のコース調査**
女性研究者のライフイベントに関わるニーズの「実態」を把握するため、ウェブアンケートを実施。この結果を今後の方策の検討に活かします。
- 病児・病後児保育事業**
子供が、病気や回復期の場合でも研究活動が中断や遅滞することなくスムーズに遂行されるよう支援します。コンソ加盟校の研究者も利用できます。
- 共同研究支援**
熊本大学とコンソ加盟校で行われている有用な共同研究(女性研究者を含む)を推進するために研究費を支援しています。
- 15名の女性研究者への支援**
- 6グループの共同研究支援**
- 女性研究者の研究再開支援**
ライフイベントを乗り越え研究活動に復帰する際の学会参加旅費・論文公開費を支援します。
8名の女性研究者への支援
- 研究補助者雇用事業**
産後・出産・育児・介護により研究が中断・遅滞しないよう、研究補助者の雇用費用を大学で負担します。
5名の女性研究者への支援

女性研究者支援活動の普及のための連携体制

